

愛知県・小牧市へ要望書を提出しました

愛知県に対する要望

当所が加盟する愛知県商工会議所連合会では、県内22商工会議所の要望を取りまとめ、中小・小規模企業支援の強化、交通インフラの整備などを11月1日、大村秀章愛知県知事に要望書を提出しました。当所が要望した項目の概要は下記の通りです。

1. 県営名古屋空港の活性化と機能向上について

県営名古屋空港は、中部地区拠点空港としてのみならず、昨年11月に待望のジブリパークが開園したことも相乗し、観光面においても来場者を迎え入れる拠点となることが望まれます。さらには震災等災害時にセントレアが打撃を受けた際の代替機能も求められるなど、ビジネス、国内観光、災害時対応で大変重要な役割を有しています。こうした状況の中、空港隣接地への中部圏基幹的広域防災拠点整備計画、空港利用者の利便性向上、空港維持のために無くてはならない就航航空会社支援等の観点から以下を要望致します。

- ①中部圏基幹的広域防災拠点に対応した空港関連整備及び周辺道路整備
- ②震災等災害時に沿岸部にあるセントレアが打撃を受けた際の代替機能の向上
- ③既存就航先においてニーズが高い就航路線の増便、さらに、需要が見込まれる沖縄便、鹿児島便など新たな就航路線の拡大
- ④ジブリパーク来場者の拠点としての空港利用機会増加策の推進
- ⑤空港へのアクセスのさらなる充実(バス路線の増便など)
- ⑥着陸料等使用料軽減措置の延長

2. 名古屋高速11号小牧線小牧北口の渋滞緩和策について

名古屋高速11号小牧線の北向き最終出口である小牧北出口では慢性的渋滞が発生しております。また、県営名古屋空港隣接地に中部圏基幹的広域防災拠点が設置される計画ですが、名古屋高速11号小牧線は、国道41号線とともに同防災拠点運営上の重要な機能を果たす道路と位置付けることができ、有事の際はいち早く災害物資運搬等も行われると推察されます。つきましては、沿線の企業活動への寄与と災害発生時への対応に鑑み、渋滞緩和策として名古屋高速道路を更に北へ延伸し、新たな出入口の設置を要望致します。

3. リニア中央新幹線開通に向けた名古屋駅へのアクセス向上について

リニア中央新幹線が、2027年に東京～名古屋間、2037

年には名古屋～大阪間が開業する予定であり、名古屋駅から大都市圏へのアクセス時間が大幅に短縮されることとなります。公共交通機関である名鉄小牧線と名古屋市営地下鉄を利用しての小牧駅から名古屋駅までのアクセスとして、50分弱の移動時間となっています。そこで、令和4年1月の運輸政策審議会の答申でAランクに位置付けられている「名古屋市営地下鉄上飯田線平安通駅以南の整備(特に、名古屋駅までの乗り換え回数減少に寄与する名古屋市営地下鉄東山線新栄町駅への接続計画)」は、リニア中央新幹線の開業に向けて名古屋駅までのアクセス向上による移動時間の短縮が図られることで、周辺地域の発展と産業振興にも寄与すると考えられます。

つきましては、地下鉄上飯田線の名古屋駅までの乗り換え回数の減少に寄与する東山線または桜通線への接続に関し、より実現性のある事業手法等により、早期に整備されるよう要望致します。

小牧市に対する要望

2023年度の小牧市への要望書を11月10日に山下小牧市長、舟橋小牧市議会議長へ提出いたしました。要望項目の概要は以下のとおりです。



▲山下小牧市長へ要望書を提出



▲舟橋小牧市議会議長へ要望書を提出

1. 企業活動支援における各種支援策の継続・拡充・創設について

(1) 企業活動における環境改善設備導入への支援策の拡充

現在の「小牧市中小企業環境保全対策設備等導入補助金」では「市内に立地する工場等を有する中小企業」に対し、騒音・振動・臭気の低減設備の新規導入・改修費を補助対象としている。会員アンケートの結果、工場等を有する中小企業以外にも同様の問題を抱えている企業があるため、以下を要望します。

- ①補助対象者を「市内に立地する工場等を有する中小企業」から、「市内に事業に供する施設を持つ中小企業者」へ改正
- ②騒音・振動・臭気などの低減効果がある機械装置等への買換えも補助対象とする拡充

(2) 省エネルギー設備導入等に向けた支援策の拡充

企業における低炭素・脱炭素化の取組を促進し、加えて企業収益の改善にも寄与するよう現行の「中小企業省エネルギー設備等導入補助金」について以下を要望します。

- ①国や県等の省エネ補助制度にある省エネ効果基準に合致している設備等を導入する場合は、省エネ診断を実施しない場合であっても補助を実施
- ②現在補助対象外となっている省エネ診断費用そのものへの補助
- ③補助額や補助割合の引上げ

(3) 小牧市中小企業デジタル化支援補助金制度の拡充

本年度創設した「小牧市中小企業デジタル化支援補助金制度」の継続、予算額の拡大を要望します。

- ①小牧市企業新展開プログラムの実施期間に合わせた継続支援
- ②中小企業への主要支援策と位置づけた予算額の順次拡大
- ③こまき新産業振興センターの支援機能が更に発揮できる制度設計の見直し

(4) こまきプレミアム商品券発行事業の支援の継続

商品券発行事業の目的である市内商工業者・サービス業者等の事業活動支援として、現行の12億円発行とプレミアム率20%による流通総額14億4千万円の事業規模と同等、あるいはそれ以上での支援を要望します。

(5) 小牧発祥!名古屋コーチンをはじめ小牧市の観光資源活用の取組に対する支援の継続

観光資源事業費補助金の補助対象は「小牧発祥!名古屋コーチン」のみだったが、令和5年度よりその他の農産物や特産品、小牧ブランドとしてアピールできるものを幅広く対象を拡大いただいた。今後さらに拡大展開していくにあたり支援の継続を要望します。

(6) 事業者のカーボンニュートラル推進に向けた事業者向け外部給電機能付き次世代自動車普及促進補助制度の創設

カーボンニュートラルへの取組をする上で、社用車両をEV(電気自動車)やPHEV(プラグインハイブリット車)へ切り替えることが有効ととらえ、既に取り組んでいる事業所も多くあるが、EVやPHEVはガソリン車に比べて車両価格が高額であり、充電設備の設置も必要となるため、導入に至らない事業所もある。小牧市が「SDGs未来都市計画」「ゼロカーボンシティ」を目指す上で、事業者がEVやPHEVを導入しやすくするため、補助制度の創設を要望します。

(7) 市内企業の健康経営推進に資する取り組みに対する支援制度の創設

健康経営の一層の普及推進および、持続して発展を続ける産業・経済の確立のための「人への投資」としての雇用確保にむけ、健康経営優良法人認定事業所や健康経営宣言を行った事業所に対して以下の支援を要望します。

- ①健康経営優良法人の認定を受けた事業所への申請料の補助
- ②従業員等の健康づくりに効果的な取り組みに対する補助(喫煙・飲酒対策、食生活改善、運動習慣定着等の生活習慣改善など)
- ③小牧市発注の入札案件において健康経営優良法人認定事業所や健康経営宣言を行った事業所への優遇措置

2. 観光を目的とする小牧山来訪者に対する利便性向上について

令和5年度より山頂の歴史館での土産品・記念品の販売を観光協会委託により設置されたが、ふもとから山頂歴史館まで登ると15~20分かかるため、体力的・時間的な面から、「れぎしるこまき」のみの来館で終わる来訪客もいる。その方々に対応できるように「れぎしるこまき」に観る・食べる・買うの要素を満たす売店や飲食スペースの設置を要望します。

3. 国道41号線の村中交差点を起因とした周辺道路の渋滞解消について

村中交差点を起因とする周辺道路の車両走行の渋滞解消に向けて、以下の内容について小牧市からの国・県の関係部局への積極的具申を要望します。

- ①名古屋高速11号小牧線の村中交差点以北への延伸
- ②国道155号線(北尾張中央道)の完全4車線化の早期整備